

世帯票(案)

総務省統計局

この調査票の内容は、統計以外の目的、例えば課税などの資料には絶対使用しませんから、ありのままを記入してください。

- 記入する欄が□の場合は、右の例のようにぬりつぶしてください。
○ 数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ右の例のように記入してください。
○ 記入には 黒の鉛筆 を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○ この調査票は機械にかかけますので、汚したり、折ったり、丸めたりしないでください。
○ □の欄は記入しないでください。
◎ 本票は9月1日現在(単身世帯は10月1日現在)の状態で記入してください。

の記入例

⇒

数字の記入例

縦線1本、すきまを開ける、上につきぬける、角をつける、閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

はねない

I 世帯員に関する事項について〔一緒に住んでいる世帯員について(1)から(14)欄に記入してください〕

(1) 氏名及び世帯主との続柄 〔3か月以上不在の家族はⅡへ〕	続柄	続柄符号	(2) 性別 男 女	(3) 満年齢(歳)	(4)就業・非就業の別														(5) 名 称	(6) 事業の内容	(7) 本人のしている仕事の内容	(8)企業規模 (官公を除く) 4 5 30 500 1000 人 人 人 人 人 以下 29 499 999 以上					(9) 産業符号	(10) 職業符号
					就 業							非就業																
					正・規の従業員	パートアルバイト	労働者派遣会社員	派遣社員	その他	自営業主	家族従業員	内職	仕事を探している	仕事をしていない														
1	世帯主																											
2																												
3																												
4																												
5																												

I 世帯員に関する事項について(つづき)

在学者の学校の種別										(13) 専修学校	(14) 各種学校・塾など
(11) 国公立	(12) 私立	保 立	幼 育 所	小 学 校	中 学 校	高 学 校	大 学	大 学			
1											
2											
3											
4											
5											

II 世帯員以外の家族について

(15)家計を主に支える人の場合		
氏名	世帯主との続柄	続柄符号
不在理由		
☐ 単身赴任	☐ 出稼ぎ	
☐ 入院	☐ その他	
(16)その他の人の場合		
☐ 入院	⇒	人
☐ 学業	⇒	人
☐ その他	⇒	人

III 介護が必要な家族について

(17)家族(1)(15)(16)に記入されている人(のみ)について、「要介護」と認定されている人はいますか	
☐ いない	
☐ いる (「要支援」を含む)	☐ 施設に入所している人がいる ☐ 居宅サービスを受けている人がいる(短期入所を含む)

IV 世帯主と子の同居について

(18)子の住んでいる場所
☐ 一緒に住んでいる(生計は同一)
☐ 一緒に住んでいる(生計は別)
☐ 同じ敷地内に住んでいる
☐ 近くに住んでいる(徒歩で5分程度)
☐ 片道1時間未満のところに住んでいる
☐ 片道1時間以上のところに住んでいる
☐ 子はいない

V 現住居等に関する事項について

(現在住んでいる住居及び土地の状況について(19)から(21)欄に記入してください)

(19)住居の構造	(21)住居の建て方
☐ 木造	☐ 一戸建
☐ 防火木造	☐ 長屋建(テラスを含む)
☐ 鉄骨・鉄筋コンクリート造	☐ 共同住宅(1・2階建)
☐ その他(ブロック造、レンガ造など)	☐ 共同住宅(3～5階建)
(20)住居の延べ床面積・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください	☐ 共同住宅(6～10階建)
千 百 十 一 ㎡ . ㎡	☐ 共同住宅(11階建以上)
うち業務用面積 千 百 十 一 ㎡ . ㎡	☐ その他

V 現住居等に関する事項について (つづき)

2

(22) 住居の所有関係 ☐ 持ち家(あなた又はあなたの家族名義(共有名義を含む)) ☐ 持ち家(住居又は生計をともにしていない親等の名義) ☐ 民営の賃貸住宅(炊事用流し及びトイレ専用) ☐ 民営の賃貸住宅(炊事用流し又はトイレ共用) ☐ 都道府県・市区町村営賃貸住宅 ☐ 都市再生機構・公社等の賃貸住宅 ☐ 社宅・公務員住宅(借上げの社宅を含む) ☐ 借間 ☐ 寮・寄宿舎 → (23)へつづく → (27)へつづく	(23) 水洗式トイレの有無(持ち家のみ) ・水洗式であれば、共用の場合でも「有」としてください ☐ 無 ☐ 有 (24) 地代の有無(持ち家のみ) 無 ☐ あなた又はあなたの家族名義の土地(共有名義を含む) ☐ 住居又は生計をともにしていない親等の名義の土地 有 ☐ 地代を支払っている	(25) 住居の敷地面積(持ち家のみ) ・借地の場合も記入してください ・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分(区分所有分)について記入してください 千 百 十 一 . m² ・坪をm²に換算するときは3.3倍してください (26) 住居の建築時期(持ち家のみ) ☐ 昭和30年以前 ☐ 昭和 ☐ 平成 → (28)へつづく (27) 入居時期(持ち家以外のみ) ☐ 昭和63年以前 ☐ 平成	
---	---	--	--

・昭和64年・平成元年は、平成1年と記入してください

VI 単身世帯の人はこの欄も記入してください

(28) 単身世帯の形態	
☐ 単身赴任 ☐ 出稼ぎ ☐ その他	→ 記入は終わりです
→ (29)へつづく	

VII 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

・家族以外の人と共有名義で所有している場合は、家族の所有分を記入してください

・共同住宅及び長屋の場合は、家族の所有分を記入してください

・現住居以外の住宅又は土地について (29)から(30)欄に記入してください

・なお、所有する住宅の延べ床面積及び敷地面積が不明の場合は、その共同住宅の総住宅面積及び総敷地面積を総住宅数であん分してください

(29) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除く)

☐ 所有している(別荘用は「その他」としてください)
☐ 所有していない → (30)へつづく

(30) 現居住地以外の土地(住宅用)をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除く)

☐ 住宅用として土地を所有している
☐ 所有していない → 記入は終わりです

	用 途	建 築 時 期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
①	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 . m ²	☐ 木造 ☐ 防火木造 ☐ 鉄骨・鉄筋 ☐ コンクリート造 ☐ その他
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 年		
	☐ その他	☐ 平成 年		
②	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 . m ²	☐ 木造 ☐ 防火木造 ☐ 鉄骨・鉄筋 ☐ コンクリート造 ☐ その他
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 年		
	☐ その他	☐ 平成 年		
③	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 . m ²	☐ 木造 ☐ 防火木造 ☐ 鉄骨・鉄筋 ☐ コンクリート造 ☐ その他
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 年		
	☐ その他	☐ 平成 年		

・昭和64年・平成元年は、平成1年と記入してください

・坪をm²に換算するときは3.3倍してください

↓
(30)へつづく

	所在地	都道府県	市 郡	区町 村
①	☐ 住宅が建っている土地(親族居住用)	敷地面積	千 百 十 一 . m ²	総務省統計局使用欄
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			
②	☐ 住宅が建っている土地(親族居住用)	敷地面積	千 百 十 一 . m ²	総務省統計局使用欄
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			
③	☐ 住宅が建っている土地(親族居住用)	敷地面積	千 百 十 一 . m ²	総務省統計局使用欄
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			

・坪をm²に換算するときは3.3倍してください

・該当する住宅又は土地を4か所以上所有している場合は、必要とする枚数の調査票をもらって記入してください

この調査票は機械にかけますので汚したり折ったり丸めたりしないでください